

【合格大学・学部・学科名】

京都大学	理学部	
慶應義塾大学	理工学部	学問E
早稲田大学	先進理工学部	応用化学
東京理科大学	理学部	応用化学
明治大学	理工学部	応用化学
芝浦工業大学	工学部	応用化学

僕は偏屈な人間で、特別な才能を持っていたわけではない。そういう人間にとっては、平常心を礼賛するある種の決まり文句「自分のやってきたことを信じて」などの言葉は、素直にうなずけるものではない。そんな僕が自己洗脳のように頭の中で充滿させていた言葉は「絶対に合格しなければならない」ということである。周囲から投げかけられる中途半端に優しい言葉は、時として脳を怠惰にさせる。そして試験当日にその怠惰が現れたら詰みだ。一瞬にして脳が問題に屈服するのを感じることになるだろう。従って試験の前にすべきことは、気持ちを落ち着かせるのではなく、ともすれば僕のように、自分自身に脅迫文を叩きつけてもいいから、脳を動かし、血を送り、最大限に酷使することだと思う。「学問に王道なし」というが、脳を「使って」学問をするのは万人に共通のことだ。くれぐれもこの、「脳“が”私“を”使う」のではなく、「私“が”脳“を”使っているのだ」という感覚を忘れないで欲しい。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

各社の模試の過去問（駿台・河合・Z会の順にお勧め）：実戦がベスト
『やっておきたい英語長文』
『良問ブラチカ』（厳選された良問がちょうど良い量詰まっている）

【合格大学・学部・学科名】

一橋大学	経済学部	経済学科
明治大学	政治経済学部	経済学科
青山学院大学	経済学部	経済学科
専修大学	経済学部	国際経済学科
駒澤大学	経済学部	経済学科

私が第一志望の大学に合格できた要因は何だったのか、この機会に考えてみた。

一つ目の要因は、当たり前なことだが一年次からの努力であろう。中学校三年間では自習などほとんどしたことのない私からは、考えられない程勉強に費やした三年間であったと思う。また、三年次に文系に転換するという体験をした私は、一・二年次の学習の大切さを定期試験の度に痛感した。

二つ目の要因は、友人との関わりだと思う。私が三年間共に学校生活を送った友人に、学年1位と2位の生徒がいた。その二人と数学研究を行った際には、彼らが一年次から積み上げた数学力の高さを目の当たりにした。そんな二人と三年間過ごしたことで、私の中でどこか彼らに追いつこうとする気持ちが生まれ、知らず知らずの内に勉強に力が入って行ったと思う。

振り返ってみると、難関大に合格した諸先輩の話同様に、私も第一志望の大学に合格すべく、かなり勉強していたということだ。「勉強をする」と決意し、そこから脇目を振らず取り組んだ、それが最大の要因だったと思う。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『英単語ターゲット1900』（よく試験にでる）
『物理のエッセンス』（理解に役立つ）

【合格大学・学部・学科名】

筑波大学 人間学類 障害科学類

私は大学受験で主に三つのことを学びました。後輩の皆さんには是非それを参考にして、これからの受験に向かって行って欲しいと思います。

まず一つ目は、自分を見つめ直すことの大切さです。進路決定においても、どの方法で大学入試に挑んでいくかでも、これは重要になってきます。自分が学びたいことは何なのか、自分に向き合い考えてみてください。私自身も進路決定には迷い、どうしたら良いか分からない時もありました。誰でも経験することです。逃げずに向き合ってみてください。

次に二つ目は、自分の強みを見つけることです。自分の強みを見つけるためには、一年生のうちからしっかり勉強する必要があります。コツコツと学習することで、自分のアイテムが見つかっていくのだと思います。そしてこのアイテムは大学受験だけでなく、その後に人生においても有効だと思います。何か一つ、得意科目でも好きな分野でも見つけてみてください。

最期に三つ目は、大学受験はゴールではなくスタートだということです。大学受験が始まるまでは大学入試がゴールのように思えてしまいます。しかし本当は大学入学後に、やっと自分が望んだ学問を学ぶことができるのです。あくまでも受験は通過点として捉え、高校三年間を過ごしてみてください。

作新学院には、高め合える友人、夜遅くまで親身になってサポートして下さる先生方がたくさんいます。私はそうした環境に恵まれ、第一志望の大学に合格することができました。後輩の皆さん、三年間はあつという間です。最後まで納得のいく結果を出せるよう頑張ってください。応援しています。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

推薦入試の赤本（5年分）

先生による赤本の添削、面接の練習

受験する学部の内容に関する本、新聞の記事読破

先生との提出書類の作成

【合格大学・学部・学科名】

東京医科歯科大学	医学部	保健/看護学科
聖路加国際大学	看護学部	看護学科

私は入学時から医学部医学科を目指して、三年間学習に励みました。しかしセンター試験では医学部のボーダーラインに届かず、看護に切り替えました。高校三年間の成功談・失敗談を参考にして頂ければ嬉しいです。

私は三年間、朝の7:00~8:25まで毎日学習室で勉強をしました。当たり前前の生活だったので一度も苦に思ったことはありません。1・2年次は夜の8:00まで学校に残りました。1年の頃は先生方に、もう職員室に来るなどと言われるまで、数学の質問に行っていました。興味があり勉強が楽しかったのだと思います。また、1年の7月進研模試で思うような結果が出ず、職員室で泣いたこともありました。低学年の内は悩むこともたくさんあると思いますが、後になると笑顔で振り返ることができます。

失敗談の一つは、3年から塾の自習室で10時まで勉強したことです。学習時間を確保したくて始めましたが、学校で9時まで残った方がいいです。学校を夕方に出ることで学習に対するやる気が消えるからです。他には、理科2教科の勉強の始まりが遅かったことです。3年の5月に『良問の風』を終わらせ、秋に化学を仕上げましたが、その間に数学が疎かになり、化学が上がると物理が下がるなど、全てをバランスよく行うには遅すぎました。夏休みに数Ⅲを仕上げ、2年次から理科のどちらか一つでも勉強しておくといいです。

逆に成功例は、1年次から東京医科歯科大学を見据えた英語の勉強をしたことです。この大学の英語は「超長文」であり、その長さに耐えるため、英字新聞を週1で読み、先生に個別指導をお願いしました。2年次に英検準1級を取得し、センター試験後の二次対策の英語は時間配分の調整と『鉄壁』の叩き込みのみで順調でした。二次に小論文があり、1か月間で135枚の原稿用紙に小論文を書き、全て添削をしてもらいました。本気でやれば1か月でも間に合います。3年次の冬休み、2月の自宅研修でそれぞれ7:00~21:00まで学校で勉強したことも効果的でした。私大の入試でも、国公立大学前期試験でも、入試が終わったら学習室に戻り、友人達と一緒に学習しました。私はずっと男子と勉強していましたが、多くの刺激を受けました。女子とは違って昼食抜きで机に向かう姿や、問題が解けるまで集まって議論するところなど、共学ならではの学びがありました。同性の友人と楽しく勉強するのは2年までです。3年からは個人で志望校や将来の夢に向かって勉強する必要があると思います。

最期に受験は周りが勉強しているから自分も本気になって、そんな自分を家族や先生方が支えてくれるから専念できます。感謝の気持ちを忘れずに、一生懸命勉強してください！

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『良問の風』(早く仕上げると物理の成績が変わる)
『鉄壁』(全て覚えれば勝ち)
英作文・受験のための小論文の添削指導(確実にできるようになる)
化学の教科書(全て載っている)

【合格大学・学部・学科名】

宇都宮大学	工学部	基盤工学科
東海大学	医学部	医学科
帝京大学	医学部	医学科
岩手医科大学	医学部	医学科

私が高校三年間を通して後悔している2つの事を伝えたいと思う。

私が高校生活において最も後悔していることは、1・2年生の時の勉強不足だ。1年生の時には、受験というものがとても遠い未来にあるような感じがして、実感が湧かず「まだまだ時間はあるから大丈夫だろう」と高を括っていた。2年生になっても1年生の時のダラダラとした習慣が抜けず、「3年生から本気になれば間に合う」と言い訳をして怠っていた。これを読んでいる後輩の皆さんの中にも、このような考えを持っている人がいるかと思うが、その様な人は今すぐにその考えを捨てて、勉強に打ち込んで欲しい。早くから準備をしていて困ることはないが、自分の怠け心による後悔は一生忘れることができないだろう。3年生ともなれば受験を目の前にして皆が学習に励むため、学力の差が付きにくい。3年生になった時に圧倒的優位に立つためにも、低学年の内によく勉強しできる限りの学力アップを図ると良い。

二つ目は、理科の科目選択だ。私は化学と物理を選択したが、最後の最後まで物理の成績が上がらず足を引っ張った。私は生物より物理の方が好きだったため、物理を選択したが、好きな科目と得意な科目が一致するとは限らない。従ってよく見極めることが重要だ。「好きこそもの上手なれ」という言葉はあるが、果たして良い結果を三年間で出すことができるのかを考えて決めて欲しい。これは理科の科目選択だけに限らず、文理の選択においても当てはまる。一年次に自分は何がしたいのかということ深く考え、後悔しない選択をして欲しい。

そして、受験は最終的には精神力と体力の戦いである。誘惑や逆境に負けない心を持ち、万全の体調で試験に挑み、今まで備えてきたものを全力で発揮して欲しい。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『化学の新研究』『化学の新演習』(とても詳しく書いてあって、辞書のような感覚で使うと良い)
『良問の風』(受験の典型もんだいだらけ、必ず解けるように)
『名問の森』(難関校を受験するなら一度は解きたい問題が載っている)
『4STEP』(基礎を定着させるのにとってもよい)
『大学の数学』(難関校で頻出の問題がたくさん載っている)

【合格大学・学部・学科名】

千葉大学	文学部	人文学科
中央大学	総合政策学部	国際政策文化学科
専修大学	文学部	英語英米文学科
専修大学	国際コミュ学部	異文化コミュ学科
駒澤大学	文学部	国文学科
駒澤大学	文学部	英米文学科

私が三年間続けてきた勉強のスタイルをお伝えします。少しでも参考になれば幸いです。

1年生のとき：日本では英語に触れる機会が少ないので、まずは英会話教室に通いました。英語を実際に使うと楽しみながら単語も覚えられると思います。文理どちらに進むか迷っていたので、先生からのアドバイスで、1年生の時はひたすら数学をやりました。100枚ノートを使うのをお勧めします。一冊終わるごとに達成感があって、モチベーションが上がります。古文単語と漢文の句形は必ず毎日コツコツ覚えておいた方が、後々絶対に楽です。

2年生のとき：歴史は必ず復習を大切にしてください。私は中学の歴史の知識がほとんどなかったので、先生からのプリ

ントを赤ペンで記入していき、メモをとって「流れ」を意識するようにしました。初めは「流れ」の意味が分からなかったのですが、3年で論述をやる時に、メモを頼りにして文の構成を考えると、「流れ」をつかむことができました。さらに、歴史マンガも意外と役に立ちます。英検を取得する余裕のある人は挑戦してみてください。私大入試で英語が満点扱いになる大学があったりします。

3年生のとき：センター試験が文系は大切になるので、「絶対にセンター試験を侮らないで」下さい。だからと言って、4月からセンター試験の赤本を解くのではなく、基礎を固めるつもりで11月までは過ごすようにして下さい。3年の夏は非常に大切な期間ですので、英語の長文読解・現代文・古文・歴史の復習は絶対に毎日やった方が良いです。家でだらけるなら学校に行くようにした方が集中できます。秋はひたすら基礎固めとセンター演習です。歴史は見直しノートを作ることをお勧めします。全力でやり切ったので、私はセンター試験本番で緊張せずに済みましたが、試験前は不安に押し潰されそうになったので、母からのメッセージカードをお守りにして、勉強をしていました。センター試験終了後は二次対策に全力を注いで下さい。論述がある人は必ず先生方に添削をお願いするのが良いでしょう。日本史は論述で直していただいた部分をノートにまとめ、本番前に見直しました。同じような問題が本番で出題されたので、本当に役立つと思います。

3年間の努力はきっと報われます。最後まで諦めずがんばれ!!

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『NEXT STAGE』(文法・語法の確認に便利)

『実力をつける日本史100題』(論述問題もついている&解説が丁寧)

【合格大学・学部・学科名】

弘前大学 教育学部 学校/小学校

松本大学 教育学部 学校教育学科

私の受験は最終的に第一志望に合格できたものの、苦しい思いを多くしました。

第一志望の大学にはオープンキャンパスで魅力を感じ、志望するようになりました。「AOⅡ」を受験するため、苦学意識のあった面接練習を担当の先生の協力の下で取り組み、乗り越えて、一次合格をすることができました。センター試験を課される制度であったため、気が抜けませんでしたが、自分が人として大きく成長できたと身に染みて感じました。例えセンター試験で得点が取れなくても、自分にとってはプラスであったなと思いました。センター試験では、1日目に体調が悪くなったり、緊張で場の空気にのまれてしまい、思うような得点が取れませんでした。頭を私立大学に切り替え、多くの大学を受験しました。A判定の安全校から実力相応校、少し高いレベルの大学まで幅広く受験したのですが、センター利用で1校合格した以外、全て不合格でした。A判定の大学さえも落ちた時には頭が真っ白になり、希望が見えなくなりました。周りの友人は次々と進路が決まって行くのに、自分だけ取り残された様な気持ちにもなりました。そして、第一志望の大学の合否を見て、合格していたときにはとても驚きました。さらに、自分以上に家族や友人、先生方が喜んでくれたことも嬉しかったです。苦しい思いはたくさんしましたが、なによりも第一志望合格の喜びの方が大きかったです。今後私の様に焦りを感じ、不安に陥る経験をする人がいると思います。でも、自分以外にも同じ思いをしている人はたくさんいるはず。自分自身は最後まで希望を捨てず目標に向かって取り組めば、必ず自分にとって良い結果が生まれると思います。頑張ってください。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

自作の英単語ノート(自分の知らない単語や、問題を解く度記入する。発音を記入し意味と一緒に覚えていた)

【合格大学・学部・学科名】

国際医療福祉大学 保健医療学部 看護学科

私は志望校に合格しましたが、受験の過程で学んだことがいくつかあったので、そのことについて後輩の皆さんに伝えたいと思います。

まず、夏休みの使い方です。よく「夏は受験の天王山」「夏を制する者は受験を制す」と言われますよね。本当にその

通りで、夏は自由に使える時間が増えます。勉強にはとにかく時間がかかり、後半になればなるほど習得しなければならないものが増えていくので、好きなだけ時間を費やせる夏休みはとても大切です。夏は暑くてやる気が起きないと思いますが、そこで踏ん張れば合格へと大きく近づきます。

ですが、「夏休み頑張るから大丈夫」と思っている人は要注意です。私もその一人で、夏休み前までダラダラと学校生活を送ってしまいました。夏休みにはたくさん時間はありますが、それは自分にだけではありません。時間は平等で、誰もが全力疾走しています。そのため、夏休みの間に他の人に差をつける、追い付くのは難しいです。また、普段より勉強に費やす時間が長い分、足を止めてしまったら、あっという間に置いていかれてしまいます。もっと身を入れて勉強しておけば良かったなと後悔しないよう、今日から頑張ってください！

次に、受験に関する情報を収集することです。大学入試はシステムが複雑化してきて、AOや公募、指定校など様々な受験方法があります。私は調べるのが遅かったため、受けておきたい検定などに間に合わないことがあったので、まだ早いと思っている人はすぐに調べ始めた方が良いでしょう。

最後に皆さんは志望校のどの様な所に惹かれましたか？自分が憧れの大学に通っているところを想像してみてください。不思議とやる気が湧いてきます。「努力は必ず報われる」最後まで諦めずに毎日コツコツと勉強することが合格への一番の近道です。これからも自分を信じて頑張ってください！応援しています！

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

小論文の添削を先生にお願いすること

【合格大学・学部・学科名】

城西国際大学 経営情報学部 総合経営学科
共立女子短期大学 文学科

英語の外部検定試験のスコアを取得していると、大学独自の英語試験とスコア得点で、良い得点の方を採用してくれるので、もし当日の試験で上手くいかなかった場合でも保証になるので、英検は取得していた方が良いでしょう。

面接試験がある時は、指導してくれる先生によって質問の量を重視する先生や、回答の質を重視する先生がいるので、担任の先生だけでなく、多くの先生方に練習をしてもらおうと良いでしょう。また、友達と練習し合うと、自分では考え付かなかった事柄も発見できて刺激になるので、友達同士で練習するのも良いでしょう。

私は推薦入試と一般入試の両方の受験を経験しましたが、面接や事前課題の準備と一般入試の学習を両立させるのは大変でした。しかし併願可能の推薦入試を受験し、一つ合格できていたことで、一般入試では落ち着いて試験に臨めました。併願校をよく調査してできるだけ多くの大学を受験した方が良いでしょう。

文系は、年内に推薦入試などに合格し受験を実質終えてしまう生徒もいますが、国公立大学や私立大学の一般入試までモチベーションを持続して、最後まで励ましあって切磋琢磨できると良いでしょう。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『Change the world』（難しかったけれど基本も同時に見直すことができる）